

月刊 地球基地

今日のごあいさつ

謹賀新年。賀正。頌春。寿。新春のお慶びを申し上げます。
 賀春。早春。浅春。吉春。慶春。慶頌新禧。福。HAPPY NEW YEAR。迎春。恭賀新年 etc…。

昨年も同じような事を申し上げました。いえ、いいのです。このような例文は好みがあるそうなので、昨年と同様に好きなものをお選びください。裏面にあります本年のアスペ年賀状は《御慶》とさせていただきます。“あけましておめでとうございます。旧年中はたいへんにお世話になりました。今年もよろしくお祈りします”…などなどの、お正月に使われる挨拶文など全部ひっくるめた言葉なのだそうです。字の感じなども正月っぽいので多用しています。

近年は年賀状の取り扱いが特に減少しているそうです。皆様のもとにまいられた賀状は、どんな言の葉でしょうか？



居ぬ、去る、盗り〜ここ3年は置き引きヤスリのように〜



さて、酉年です。年賀状を始め、トリというのでつい鶏、チキンをよく見かけますが、実は「雉」が正しいそうです。

サル・トリ・イヌは方角（アナログ時計みたいなやつ。時計なのですがね）に置いて『裏鬼門』にあたります。対にあたるウシ、トラが『鬼門』になります。牛の角に虎の腰巻、といえは鬼。犬に猿に鳥ときたら、そう、《桃太郎》。

あの有名な昔話は世の悪い奴＝鬼を、裏鬼門にあたる動物三匹を連れて退治しに行くという意味があるのです。

で、桃太郎が連れていたのは犬に猿、そして雉です。必然的に十二支の酉（トリ）は「雉」になるわけですね。

年賀状に雉が描かれていたら、「知っているねえ」と思ってあげましょう。確かにコンドルやフクロウ、カラスやミツスイではイメージしにくいですね。となると、猿はニホンザルでいいとして、犬は何でしょう？ やっぱり国産の柴犬でしょうか？ 甲斐犬？ 岡山が近いから四国犬？ まさかチワワやアフガンハウンドじゃないですよ（笑）。

字

毎年、誰も知らないのに「日本一早い（だろう）今年の一字」というのを勝手にこっそりやっています。単なるお遊びなのですが、『こうなったらいいな』という想いを抱いて綴っています。時として文字は魂が宿るので、お守りがてらにやっておくのがコツです。

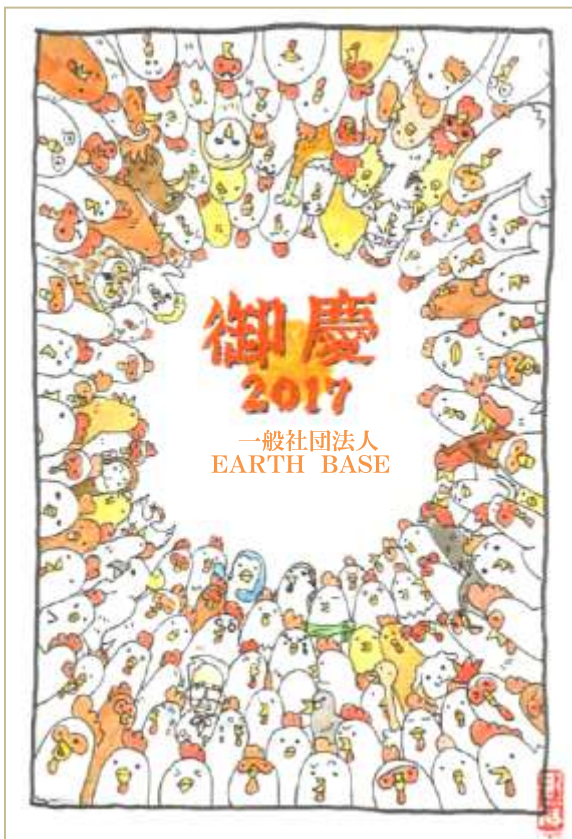
そんな希望の一字は《彩》—いろいろ—とさせていただきます。これは人気バンドMr. Childrenの楽曲から来ています。この歌の内容と我々アースベースの仕事（もちろん世の中の全ての人へ向けられているのですが）を映し、歌っていてくれるようで、実にぐっとくる曲なのです。そのタイトルが「彩（いろ



どり)」なのです。詞の通り、いい仕事をして誰とも知らない人の笑顔を作っていけたらな、と思います。機会がありましたら是非お耳を傾けてみてください。

皆さんの「今年の理想の一文字」は何でしょうか？今度教えてくださいね。

尚、ブログではまた別の字を掲げさせていただきました。1月6日の記事をどうぞ見てみてください。(一文字じゃないじゃん！というツッコミは受け付けていません。)



餅憑き

外国人さんから見て、日本の餅つきが恐ろしいらしいのです。大きなハンマーでライスを叩き潰し、あろうことかそれを喜んで喰う。…確かに怖い。

さらに言うなら大の大人が半裸で鈍器を命懸けで振るうわけですから、さすがの外国人さんも「Why!？」でしょう、無理ありません。

しかしながら、そこを『日本だ』と粹に決めて魅せれば、感動してくれる方も多はず。日本が培ってきたエネルギーの塊なのだから。これのほうによっぽど“クールジャパン”だと思います。

そんな餅つきの風物詩が、あちこちで中止になったとの事です。と、いうのも昨年末から日本を騒がせているノロウィルス。目に見えないやつらの蔓延を憂いての配慮だそうですが、やっぱりお正月に餅つき大会はあるべきものです。どんなに怖がられようが、やはりこれが日本のお正月の光景の一つであることは間違いありません。許せまじ、ノロ。

「お正月だからと言って、鏡餅を買っている奴がいたんですよ〜」

「なあにい、やっちゃったな」

「男は黙って」

「想像!!」

「そこはいいじゃない…」

アスベ特製年賀状です。受け取る時は正月のつもりでいてください(笑)。

この絵のいろんな鳥の中に、カーネルさん、銘菓のひよこ、気が早い奴と、のんびり屋がいます。探してみよー！※雉はいません。

編集後記

おかげ様により、昨年はこの「月刊地球基地」も1周年を迎え、ひと月遅れたりしながらも滞りなく発行させていただくことができました。

ひとえに我々・アースベースとご縁を結ばせて頂いている皆様のおかげです。たいへんな感謝を申し上げます。

そして本年も皆様のお仕事の力添えや貢献ができますように、一丸となって精進してゆく次第です。

尚いっそうのご最良とご哀願をどうぞ宜しくお願い申し上げます。良い年になります事を心より願っております。

【月刊地球基地】 発行人：一般社団法人 EARTH BASE
健全者と障がい者が一緒になってサイン・看板を製作しています。

〒132-0034 東京都江戸川区小松川 3-2-1 テクノタウン 306

TEL : 03-5875-5941

FAX : 03-5875-5942

mail : info@earth-b.jp

URL : <http://www.earth-b.or.jp/>